

方面訓練場を活用した実戦的な震災訓練

令和7年2月16日(日)、第二消防方面訓練場において、目黒消防団も参加し、震災時の遠距離放水を要領の実戦的な訓練を実施しました。普段はポンプ操作の団員と筒先を持つ団員は距離が近く、すぐにコミュニケーションが取れますが、遠距離放水では二人の距離が遠く、無線を使用するためコミュニケーションが難しくなります。また、遠距離のホース延長はホースのねじれが生じやすく、水を送る圧力の調整もむずかしくなります。

今回の訓練では自転車を使用したり、新配置のホースバックを使用したりしました。体力的な制約もありました。普段、街中で行う訓練とは違い、非常に貴重な経験になりました。また、近隣の消防団との連携も図れる充実した訓練となりました。



チェーンソー取扱い訓練



ホースバックによるホース搬送



いざ!訓練開始



目黒消防団と連携しての放水訓練